

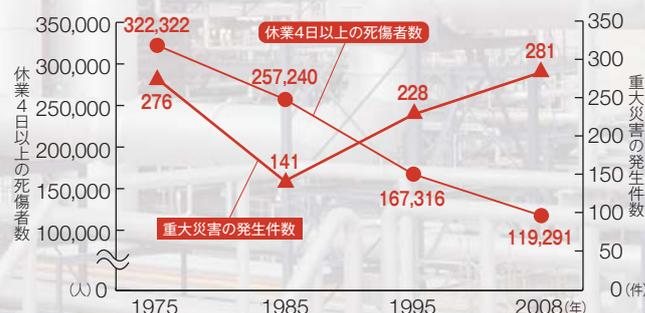
② 安全で事故のない企業をめざします

# 目標は事故ゼロ。 グループ一丸となって事故防止に 取り組んでいます。

## データで見る社会情勢

近年、生産工程の多様化・複雑化が進むとともに、労働災害の原因も多様化しています。厚生労働省では、第11次労働災害防止計画(2008-2012年)に基づき、事業者に対し、自主的に安全衛生水準の向上に努めることを求めています。日本の労働災害による休業4日以上死傷者数は、減少傾向にあるものの、いまだ10万人を超えています。一方、重大災害(一時に3人以上の労働者が被災した災害)の発生数は増加しており、その削減が急務となっています。

労働災害発生状況の推移



出所:厚生労働省「平成21年版厚生労働白書」一部抜粋

## 安全操業を通じ安定供給を図り、社会との共生に努めます。

事故ゼロを実現するためには、事故を未然に防ぐ技術や設備の確保、安全管理体制の整備、そして社員全員が高い防災意識を持つことが不可欠です。

コスモ石油グループでは、「現状の安全対策・安全活動の確認」「もしもの時の安全確保のための備えの確認」といったことを日常的に行うとともに、グループ全体の安全管理レベルを3つの視点から捉え、より高度な安全管理体制の構築をめざしています。

1つ目に、事故および労働災害を未然に防止するために、石油コンビナート等災害防止法など保安関係法令を遵守した環境づくりを進めています。あわせて協力会社と密接に連携しながら、安全管理活動を推進しています。また、原油開発から販売に至るまで、すべての事業活動において最適で柔軟性のある災害防止対策に取り組んでいます。

2つ目に、万一の事故・災害発生時に、被害を最小限にとどめるよう、緊急時における対応を定めています。具体的には、人命尊重を最優先した上で、迅速かつ適切に関係機関(行政機関等)への通報・連絡を行うよう徹底しています。

3つ目に、安全確保のための教育・訓練の充実を図っています。具体的には、安全に関する知識および技術の習得と向上、事故・災害時の迅速・適切な対応を可能にする防災訓練、そして協力会社に対しても改善・提案を行う活動を推進しています。

安全対策に終わりはありません。コスモ石油グループは、これからも安全対策の拡充を図っていきます。

## 全社的な安全管理体制を構築

コスモ石油グループは、全社的な安全管理組織として「総合安全対策本部」を設置し、毎年定期的開催する本部会議において安全管理に関する重要事項の調整や審議を行い、各部門や事業所における安全管理の実施状況を把握しています。また毎年、事業所や事業所を統括する本社部門を対象に、安全査察を実施しています。

### 安全管理体制図



## 陸上輸送における安全管理

物流部門では、契約運送会社における自主保安体制の確立をめざし安全マネジメントシステムの運用と定着に取り組んでいます。2009年度においては、車庫規模の大きな契約運送会社についてコスモ陸運(株)が運用状況の監査を行い、正しく運用されていることを確認しました。2010年度は契約運送会社全社において順次、監査を実施していきます。また、毎年契約運送会社ならびにローリー乗務員の無事故実績を表彰し、陸上ローリー輸送に対する安全意識の高揚と事故災害の撲滅を図っています。

## 第2次連結中期安全計画

コスモ石油グループでは、2005年度より生産、物流、販売の各段階に加えエンジニアリング部門などを対象として、連結中期安全計画を策定し取り組みを進めています。

2008年度からの「第2次連結中期安全計画」では、「事

### 第2次連結中期安全計画の2009年の取り組み状況

※達成度：○達成 △一部達成 ×進捗なし

部門/対象		事故削減の定量目標	2009年の実績	目標の達成度
製造部門	4製油所およびコスモ松山石油	・ 不安全不具合の件数を2010年にベース年比90%以上削減(11件以下)	・ 不安全不具合の発生件数126件(08年実績から12%減少)	—
	コスモ石油ルブリカント(潤滑油製造)	・ 労働災害ゼロ ・ 事故・トラブルの前年比30%削減	・ 労働災害1件 ・ 事故・トラブルの前年比6%削減(09年:15件、08年:16件)	△
	コスモ石油ガス(LPG貯蔵・配送)	・ 事故・トラブルゼロの継続	・ 事故・トラブルゼロ	○
物流部門	コスモ陸運(陸上輸送)	・ 混油事故根絶(0件) ・ ヒヤリハット提出(1万件)	・ 混油事故6件発生 ・ ヒヤリハット約2万件提出	△
	コスモ海運(海上輸送)	・ 海上漏えい、座礁事故ゼロの継続 ・ 機器故障の基準年(08年)比50%削減	・ 海上漏えい2件、座礁事故ゼロ ・ 機器故障47%削減(09年:8件、08年:15件)	△
	油槽所	・ 労働災害ゼロの継続 ・ 火災/漏えい事故の年平均2件未満	・ 労働災害ゼロ ・ 火災/漏えい事故1件(漏えい)発生	○
販売その他部門	販売サポート部(SS)	・ SS工事における労働災害ゼロの継続	・ 労働災害ゼロ	○
	事業開発部(コージェネレーション等)	・ 中計期間における年間平均事故数1件以下の達成	・ 事故1件発生(08年:0件)	○
	中央研究所	・ 労働災害ゼロの継続 ・ 事故・トラブルの削減	・ 労働災害2件 ・ 事故・トラブルの前年比4件増加*1(09年:54件、08年:50件)	△
	コスモエンジニアリング	・ ゼロ災害の実現(労働災害の確実な削減)	・ 労働災害31件*2(08年:14件)	△

※定性的な実績を含めて評価しています。

\*1 設備老朽化に伴う電気関係のトラブルが増加。その他、軽微なトラブルもすべてカウントしています。 \*2 内28件は協力会社における労働災害。

## 「チェンジ21活動」を推進

製油所およびコスモ松山石油(株)では、「事故ゼロを達成しそれを維持する」ことをゴールビジョンに掲げ、「チェンジ21活動」に取り組んでいます。この活動は「不安全不具合\*1の発生件数を2010年\*2に、ベース年\*3比90%以上削減すること」を定量目標としています。2009年の不安全不具合の件数は126件となり、2008年の143件\*4に比べ約12%減少しました。

このような活動を進める中、2010年6月19日に千葉製油所において社員が作業中に転落し尊い命を失うという大変痛ましい事故が発生しました。この事態を重く受け止め、二度とこのような事故を起こさないために安全を最優先して業務に取り組むことを改めて確認し、再発防止の周知徹底を図っています。

コスモ石油グループは安全確保を企業の最重要責務と考え、引き続き事故ゼロを目標に安全レベルの向上に取り組めます。

### 不安全不具合発生件数

	2009年	2008年	ベース年
不安全不具合件数	126件	143件	110件
内、石油コンビナート等災害防止法に定める異常現象	16件	14件	21件

- \*1 コスモ石油グループでは、石油コンビナート等災害防止法に定める異常現象およびこれに至らないトラブル・不具合、生産に影響を与えた非危険物(工業用水や蒸気等)の漏えい、休業に至る労働災害を「不安全不具合」と定義しています。これらを削減することで事故ゼロを達成・維持する取り組みを行っています。
- \*2 「チェンジ21活動」を含め連結中期安全計画においては、対象期間を暦年(1月から12月)としています。
- \*3 ベース年:2006年9月~2007年8月
- \*4 2008年の不安全不具合件数には、前回レポート発行(2009年9月)以降に不安全不具合と判定された1件を追加しています。

故ゼロをめざした活動を積極的に推し進め、お客様や社会から信頼され、社員が誇れる安全・安心なコスモ石油グループを創り上げる」ことをビジョンに掲げ、安全レベルの向上を図ってきました。

① お客様の信頼と満足に応えます

② 安全で事故のない企業をめざします

③ 人を大切にします

④ 地球環境を大切にします

⑤ 社会とのコミュニケーションを大切にします

⑥ 誠実な企業であり続けます